

【展示物名】 エントランスホール（展示装置）

【該当する学年】 小3 小4 小5 **小6** 中1 中2 **中3**

【学習指導要領】 エネルギー 粒子 **生命** **地球**

<小学校6年>

(3) 生物と環境

動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていること。

イ 生物の間には、食う食われるという関係があること。

<中学校3年>

(7) 自然と人間

自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに、自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。

ア 生物と環境

(イ) 自然環境の調査と環境保全

身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。

イ 自然の恵みと災害

(ア) 自然の恵みと災害

自然がもたらす恵みと災害などについて調べ、これらを多面的、総合的にとらえて、自然と人間のかかわり方について考察すること。

【写真】



【大淀川で使用されていた川船と漁具】



【撮影地点と空撮映像が連動する展示装置】

【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ 大淀川流域の衛星写真を利用した「床面地図」、模型のランプと空撮映像が連動した「空から見た大淀川流域」、大淀川の生い立ちなど7つのテーマを映像で紹介する装置、大淀川で実際に使用されていた船や漁具など、大淀川流域の自然・歴史・文化など全般について楽しく学べるように展示している。

☆ **小学校6年「自然とともに生きる」、中学校3年「自然と人間」**では、大淀川とその流域の変遷に焦点を当て、昭和40年代頃までは大淀川で盛んに漁が行われ、豊かな恵みを受けながら生活していたことを知るとともに、**実際に利用していた猟具について見学したり解説を聞いたりする**ことで、生物と環境のかかわりを調べる学習活動の導入部分として活用できる。